

2015/09/27

プレミア MIX (関西龍舟) 代表

水川 洸一

1. はじめに

2015年8月17日よりカナダ・ウェラントにて「第12回 世界ドラゴンボート選手権」が開催されました。つきましては、プレミア MIX の部に選手として参加しましたので、以下の通りご報告致します。また、関西龍舟からシニア A MIX も派遣しましたので、併せてご報告致します。

2. スケジュール概要

8月17日 現地入り
8月19日 20人艇 2000m
8月20日 20人艇 1000m
8月21日 20人艇 500m (MIXのみ)
8月22日 20人艇 200m
8月23日 20人艇 500m (MIX以外)
クロージングパーティー
8月24日 カナダ出発
8月25日 日本着

3. レース報告と戦評

プレミア MIX の参加国は、カナダ・アメリカ・中国・台湾・タイ・イギリス・ドイツ・オーストラリア・スウェーデン・スイス・プエルトリコ・日本の12カ国でした。

シニア A MIX の参加国は、カナダ・ドイツ・オーストラリア・アメリカ・イギリス・スウェーデン・日本の7カ国でした。

①8月19日 20人艇 2000m

初日には、まだ関西龍舟は全員カナダへ到着しておらず、プレミア MIX に戦力を集中しました。

我々としては、慣れない回航レースで、コースも狭く、心配しましたが、高い集中力とレース会場の環境の良さもあり、会心のレースでした。結果は、12チーム中11位でした。

【順位】プレミア

1. カナダ 8 : 09.326

- 2. アメリカ 8 : 15. 232
- 3. 台湾 8 : 15. 278

- 11. 日本 10 : 00. 393

②8月20日 20人艇 1000m

2日目には、全員揃いプレミアとシニアAに分かれての戦いとなりました。1000mを3本、しかもすべて午前中、というスケジュールに、体力を温存する選択肢もありましたが、すべて全力で行く、とチームで決めて臨みました。スタートは、良いものの、中盤から後半にかけての漕力差に、じりじり離されてしまいました。結果は、プレミアは10チーム中10位、シニアAは7チーム中7位でした。

【順位】プレミア

- 1. 台湾 3 : 49. 466
- 2. アメリカ 3 : 49. 788
- 3. カナダ 3 : 50. 268

- 10. 日本 4 : 52. 837

【順位】シニアA

- 1. カナダ 4 : 00. 781
- 2. アメリカ 4 : 04. 240
- 3. ドイツ 4 : 04. 250

- 7. 日本 4 : 48. 943

③8月21日 20人艇 500m

3日目にもなり、世界の強豪とレースをする中で、チームとしてもう一段レベルアップしたい、と思っていました。500mのレースの中で、会場に慣れも出てきましたが、雑になるのではなく、楽しむことで、どんどんチームが乗ってきているのを感じ始めました。結果は、プレミアは12チーム中12位、シニアAは7チーム中7位でした。

【順位】プレミア

- 1. 中国 1 : 52. 168
- 2. タイ 1 : 53. 217
- 3. カナダ 1 : 53. 278

12. 日本 2 : 18. 666

【順位】 シニア A

1. カナダ 1 : 59. 373

2. ドイツ 2 : 01. 359

3. アメリカ 2 : 01. 601

7. 日本 2 : 16. 309

④8月22日 20人艇 200m

最終日、悔いを残さないようにと気持ちがこもっていました。チームとしては。多少冷静さを欠いた、とも思いましたが、全員が「勝ちたい」気持ちを共有し、全力を出し切りました。そのおかげで限界を超えたレースができました。しかし、ほんの一步及ばず、結果は、プレミアは12チーム中12位、シニアAは6チーム中6位でした。

【順位】 プレミア

1. 中国 42. 690

2. カナダ 42. 748

3. 台湾 43. 065

12. 日本 50. 903

【順位】 シニア A

1. カナダ 45. 427

2. アメリカ 45. 980

3. ドイツ 46. 336

6. 日本 51. 829

4. レース総括

会場の空気などに飲まれることなく、全レース、非常に満足のいくレースが出来ました。チームとして、集中力が高かったのももちろん、会場にいるどの人も楽しそうにしていること、レース会場の環境の良さにも良い影響を受けたのだと感じています。結果は、及ばずでしたが、悔いの残ったメンバーはいなかった、と思います。

私個人としては、初めての世界選手権であり、現地で映像とは違う刺激をたくさん受け

取りました。チームの課題も見つかりましたし、なによりドラゴンボートの楽しさをひしひしと感じました。この経験を生かして、チームをより強くしていきたいと思えます。

5. 最後に

この度、世界選手権出場という貴重な経験をする機会を与えて頂き、感謝しております。参加に際し、菖蒲様、森永様をはじめ、ドラゴンボート協会の皆様には大変なご支援を頂きました。また、関西龍舟以外のチームの皆様からも、多大な応援・ご支援を頂きました。そして、BP様、FUJIYAMA ALL STARS様は、共に戦って頂き、現地でも大変お世話になりました。この場をお借りして、厚く御礼申し上げます。本当にありがとうございます。

この経験を国内にフィードバックし、日本のドラゴンボートを盛り上げていきたい、と考えております。今後とも、よろしくお願ひ致します。

以上